

絆

小牧小学校区地域協議会 三世代交流会

地域協議会の設立・活動状況は
こちらから▶



-KIZUNA-

3月23日、小牧小学校にて小牧小学校区地域協議会主催の「三世代交流会」が行われました。

この催しは、地域住民が三世代で集い楽しめるイベントとして企画されたもので、今回で6回目の開催となりました。

当日は子どもから高齢の方まで約60人が来場し、琴の体験会、保健連絡員による体操や体力測定、小牧防災リーダー会による防災グッズづくり、小牧児童館による缶バッジづくり、大道芸といったさまざまな催しが行われました。

参加した子どもたちは、「体力測定やお琴の体験がおもしろかったです」と話していました。また、イベントを企画した交流部会長の山田さんは、「多世代に渡る参加者の方に来場いただき、地域の方と楽しい時間を過ごすことができました。小学生ボランティアがたくさん参加してくれて、年代を超えて皆さんと作り上げていく土台ができていると感じています」と話しました。





小牧警察署通信

みんなでつくろう！安心安全のまち



問合先 小牧警察署 (☎ 72 - 0110)



事業主のみなさんへお願い！

- ◆外国人を雇用する場合は、旅券、在留カード、就労資格証明書等のコピーではなく実物で在留資格、在留期間を確認してください。
- ◆留学生等については資格外活動の許可の有無、また、許可された活動内容も確認してください。
- ◆在留カードには、就労制限の有無や資格外活動許可に関しても確認してください。

【注意】外国人を雇用する際に、当該外国人が不法就労者となることを知らなかったとしても、**在留カードの未確認などの過失があれば処罰の対象**となります。

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」 ～覚醒剤、大麻等の乱用をなくそう～

日本は、覚醒剤、大麻等の大きな消費国となっています。
薬物乱用の恐ろしさは、何度でも繰り返し使用したくなる性質、つまり、“依存性”を持っているということです。
繰り返し使用するうちに、薬物の中毒症状として、「殺される」、「つけられている」、「見張られている」などといった妄想や幻覚が現れます。薬物の乱用は、無関係な人々を巻き込む殺人や放火などの二次犯罪を引き起こし、社会に悪影響を及ぼしたり、家庭の崩壊を招いたり、その被害は本人のみにとどまりません。



●覚醒剤等の薬物追放にご協力を

覚醒剤や大麻は、興味本位から気軽に手を出したり、覚醒剤がやせる薬、大麻は音感が良くなるなどと騙して勧められたり、覚醒剤のことをS（エス・スピード）、大麻のことをマリファナ、クサなどと呼んで、何か格好良いもののように錯覚して安易に手を出してしまう人もいます。

覚醒剤等の薬物を社会から追放するためには、あなた自身が甘い誘いにのらないことはもちろん、あなたの周りで覚醒剤等の薬物を扱っている人を見たり聞いたりしたときは、警察本部が最寄りの警察署、交番までご連絡ください。

